

平成 29 年度東京都手話通訳者等養成講習会
手話のできる都民育成講習会
受講生選考試験・一次試験全クラス共通筆記問題

1 次の文の正しいものは○、間違っているものには×をつけてください。

1. 全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念大会となる第 70 回全国ろうあ者大会（主催・一般財団法人全日本ろうあ連盟）が今年 6 月 1 日から 4 日まで大阪府で行われます。
2. 1 月 29 日の埼玉県戸田市の市議員選挙で聴覚障害者がある議員が誕生しました。日本でこれまで 3 人の聴覚障害者の議員が出たこととなります。なお、現職議員は 2 人です。
3. 東京都聴覚障害者連盟は 2013 年に一般社団法人に移行した。
4. 全日本ろうあ連盟創立記念ドキュメンタリー映画のタイトルは「段また段をなして」である。
5. 東京手話通訳等派遣センターは社会福祉法人内の組織で他にたましろの郷、クラブかたつむり、畑中たましろ荘がある。

2 次の団体、機関などの略語は正式な団体名を、ア～コから選んでください。

1. W F D
2. J D F
3. W H O
4. J P S A
5. G D P

ア = 国民総生産	イ = 世界障害者連盟
ウ = 世界保健機構	エ = 日本障がい者スポーツ協会
オ = 世界貿易機関	カ = 国内総生産
キ = 世界ろうあ連盟	ク = 日本障害フォーラム
ケ = 日本パラリンピック協会	コ = 世界ろう連盟
サ = 全日本ろうあ連盟	シ = 日本障害者連盟

3 次の文の（ ）に相応しい、語句または数字を下の A～Rの中から選び、文を完成させてください。

1. (①) 月 18 日から 30 日までトルコの (②) で第 23 回夏季デフリンピックが開催されます。全 21 競技のうち、日本からは約 100 人の選手が 11 競技に出場の予定です。
2. 日本聴力障害新聞の購読料は年間 (③) 円ですが、ゆうちょ銀行の自動払込みの年間購読料は (④) 円安くなります。
3. 今年 3 月 1 日に (⑤) で、全国初の盲ろう者専用のグループホームが誕生しました。ホームでは、盲ろう者個々の障害の特性に配慮した環境で、家事をはじめとした日常生活が出来るよう盲ろう者についての知識を持つスタッフ 10 名交代で (⑥) 時間常駐、サポートをしています。
4. 聴力障害者情報文化センターは今年 1 月 31 日、第 28 回手話通訳技能認定試験（手話通訳士試験）の合格者を発表しました。受験者は 1058 人で、合格者は (⑦) 人。これで合格者累計は (⑧) 人を数えます。
5. 2013 年 6 月 19 日に (「⑨」) や (「⑩」) を盛り込んだ障害者雇用促進法の改正法が成立し、2016 年 4 月 1 日に施行されました。

A = 大阪市	B = 500	C = 12	D = 300
E = 特別な配慮	F = 合理的配慮	G = サムスン	H = 119
I = 優先雇用	J = 3900	K = 2900	L = 差別の禁止
M = イタブル	N = 19	O = 京都市	P = 今年 7
Q = 3552	R = 来年 7	S = 1552	T = 24

手話のできる都民育成講習会

読み取り 1 問 「手話言語条例制定」

全日本ろうあ連盟が発行している季刊誌「みみ」で、手話言語条例制定への取り組みの現状を知りました。2014 年 10 月の鳥取県をはじめ、石狩市、松阪市が次々と条例制定をし、その瞬間を見守ってきたろう者が手話で喜びを表現している様子をテレビでも観ました。聞こえない私としては感激でした。

2006 年に国連総会で障害者権利条約が採択され、手話が言語であると明記されました。日本は国内法の整備を行い、2011 年に改正障害者基本法の中で、手話を言語として国や地方公共団体へ情報保障関連の調整の義務付けを行いました。

設問

- 1 = 全日本ろうあ連盟が発行しているのは何ですか？
- 2 = 手話言語条例制定を行ったのは鳥取県をはじめ、どこどこの市ですか？
- 3 = 国連総会で採択された条約は何ですか？
- 4 = 改正障害者基本法はいつ制定しましたか？
- 5 = 情報保障関連の調整の義務付けを行ったのはどこですか？（2 つ）

読み取り 2 問 「昔の結婚式」

昔、ろう学校の杉山先輩が結婚式を挙げた時の話です。ろう同士の結婚式にろうの同級生たちを招待したいと母親に言ったら結婚式に参列するのはいいけれど式場では手話はしないしてほしいと言われたのです。親戚、会社の人がたくさん集まる席で手話をするのはみっともないし、親としても恥ずかしいからです。仕方がなく同級生に結婚式で手話をするのを遠慮するよう頼みました。彼らは受け入れました。

結婚式を迎えて、新郎新婦が登場しました。仲人の挨拶は手話もなく話だけです。祝辞スピーチは同級生が話すのが普通ですが、あまり会ったことがない親戚が話しました。スピーチのとき、みんなが笑ったり、「祝い酒」の歌を歌うと、聞こえる人は手拍子が始まり、ろうの同級生たちは何もわからないまま、聞こえる人たちの真似して笑ったり、手を叩きました。いつもろう者は我慢していたわけです。

今は、手話に理解が広まっています。前もって区、市の行政に手話通訳をお願いすれば、結婚式へ派遣してくれます。挨拶の内容が全部通訳してくれるので、楽しく出席できます。

設問

- 1 = 結婚式を挙げた先輩の名前は？
- 2 = 母に何をしないしてほしいと言われたのですか？
- 3 = 祝辞スピーチは誰が話しましたか？
- 4 = 結婚式のとき、何のタイトルを歌いましたか？
- 5 = 結婚式への手話通訳派遣依頼はどこへ頼みますか？

「わかりにくい障害」

日本には 1 億 2 千万人の人々が生活しています。

その中で 343 万人の身体障害者がいます。手や足の不自由な人や、目の見えない人については、さまざまな機会に知ることが出来ます。

耳が聞こえないということは外から見てもわかりませんし、困っている時もまわりの人とコミュニケーションができないなど、耳の聞こえない人の問題は「わかりにくい障害」と言われています。

話しかけても聞こえないので、紙に書いたり、身ぶりなどで伝える必要があります。聞こえない人もいろいろな工夫をして、分かってもらうために一生懸命にこたえます。

聞こえない人とのコミュニケーションの経験を通して聞こえない人について理解を深めてください。